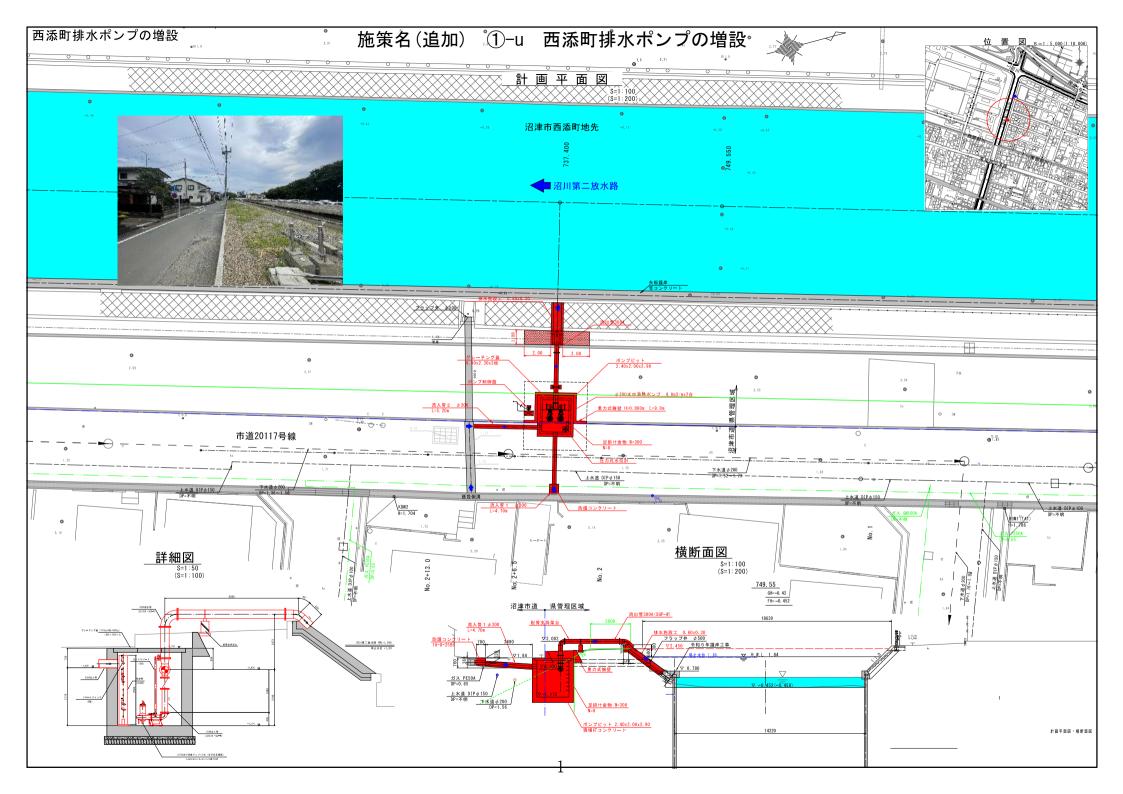
八 华王	実施内容				供来										
分類 ————————————————————————————————————	施策名	対策量	機関	担当課	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	RI0	RII	R I2	RI3	R 14	備考
	a 沼川新放水路(仮称)の整備	L=2.3km	静岡県	沼津土木事務所沼川新放水路整備課											ハード
	b 高橋川の河道拡幅	L=485m	静岡県	沼津土木事務所沼川新放水路整備課											ハード
	c 高橋川の堤防強化	L=400m	静岡県	沼津土木事務所沼川新放水路整備課				-							ハード
	d 沼川第2放水路の河道掘削及び護岸 強化	L=400m	静岡県	沼津土木事務所沼川新放水路整備課									•		ハード
	e 雁作川河道整備	L=102m	沼津市	建設部河川課		Michiglicalistics			m)>						ハード
	f 青野排水機場の排水能力の増強	N= I 基	沼津市	建設部河川課											ハード
	g 東部前川排水系統の見直し・整備	L=200m	沼津市	建設部河川課	8484848										ハード
	h (都)金岡浮島線整備に伴う排水系統 の見直しの検討	_	静岡県 沼津市	沼津土木事務所関係各課 建設部河川課、建設部道路管理課											
	・下水道メニューにおける浸水対策の 検討及び実施	_	沼津市	水道部下水道整備課 建設部河川課											ハード
	j 井戸川雨水貯留池の整備	N= I 基	沼津市	建設部河川課											ハード
D氾濫をできるだ け防ぐ・減らすた めの対策		V=27,800m3	静岡県	沼津土木事務所下水道課	SHEHSHEHS										ハード
	砂防堰堤への雨水貯留機能の付加	N= I 基	静岡県	沼津土木事務所工事第丨課	4818181	HSHSHSHSH									ハード
	市営今沢団地建替における雨水貯留 施設の整備	契約後検討	沼津市	建設部住宅営繕課			MINIMIN						MONTH INTO THE		ハード
	n 水田貯留(田んぼダム)の可能性検証	_	静岡県 沼津市	東部農林事務所農村整備課 産業振興部農林農地課			HAIMIN	10010310							
	流域内道路の歩道舗装(透水性舗 o 装) (県道三島富士線BPなど)	新設又は 更新に応じて	静岡県 沼津市	沼津土木事務所関係各課 建設部道路建設課											ハード
	p 開発許可に伴う調整池設置基準の見 直しの検討	_	沼津市	都市計画部まちづくり指導課 建設部河川課	91191191191	10101011									
	沼川第2放水路の維持管理(トンネル 部)	_	静岡県	沼津土木事務所沼川新放水路整備課	121121121121121			9.01.01.01.01.01							ハード・ソフ
	r 前川排水機場の長寿命化及び自動化	N= I 基	沼津市	建設部河川課											ハード
	s 流域内の排水機場の更新及び長寿命 化	N=16基	沼津市	建設部河川課	HEISISISIS		usisisisis	CIRIRIRIRI			enama	elaisiaisi			ハード
	† 河川パトによる土砂堆積状況等の把 † 握と適切な維持管理(高橋川など)	_	静岡県 沼津市	沼津土木事務所関係各課 建設部河川課	ISHSHSHSHS				ENSUSUSUS	HSHSHSHSHS	I BHSHSHSHSH			À	ハード・ソフ
	u 西添町排水ポンプの増設	N= I 基	沼津市	建設部河川課	21121121111										ハード
	v 新たな対策の掘り起こしの検討	_	_	本協議会構成員を含む流域内のあら ゆる関係者	15115115115	1101101101	11611611611	101101101			2512010	e mana	Henenen		
					EMERICATION		これな	、ら実施	するもの	· · · · · ·	STORES.		すっ	でに実施	しているもの
					ISRAHRADO		■ これか	、ら検討	・計画す	るもの	BARRAN		* † †	でに検討	を始めているもの

分類	実施内容					備考									
<i>刀 枳</i>	施策名	対策量	機関	担当課	R5 R6 R7 R8 R9 I			RI0	RII	R I 2	R13 R14		r#i - 5		
②被害対象を減少 させるための対策	α 立地適正化計画に定める防災指針の 位置づけと施策の見直し	_	沼津市	都市計画部まちづくり政策課	SHSHSHSHSH	181818181818							sjerere rerer		ソフト
	b 雨水浸透施設・雨水貯留施設設置費 補助金制度の普及促進	_	沼津市	建設部河川課											ソフト
	沼川流域整備計画の改定に向けた検 c 討	_	静岡県 沼津市	河川企画課ほか関係各課 建設部河川課ほか関係各課			BRIBE	1121211		•					
	d 新たな対策の掘り起こしの検討	_	_	本協議会構成員を含む流域内のあら ゆる関係者	Renteres	HIRMANIA	HANKARA	Research	1000			MINISTER .	1000000000		
								いら実施	するもの)	Hallan	enemenene	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	でに実施	しているもの
							> これか	いら検討	・計画す	るもの	mm	1 11311311	* \$7	でに検討さ	を始めているもの

分類	実施内容		実施主体 機関 担当課			実施期間									
	施策名	対策量	機関	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	RI0	RII	R 12	RI3	R 14	備考	
	α 雨水出水浸水想定区域の指定及び内 α 水ハザードマップの作成	_	沼津市	建設部河川課 水道部下水道整備課		inenenenene		81161181161181181	esiionenenene	i di					ソフト
	b 土砂災害警戒区域標識等の設置	N=25基程度	静岡県	沼津土木事務所企画検査課											ソフト
	避難行動や被害軽減行動を促すため c の情報配信事業	-	沼津市	危機管理課							ainininini	namana	inishinka ka	Ţ	ソフト
	d 住民が主体的な避難行動につなげる ためのマイ・タイムラインの普及	_	沼津市	危機管理課											ソフト
③被害の軽減、早	e ポンプ車、排水ユニットの導入・運 用	ポンプ車 N= I 台 ユニット N= 2 台	沼津市	建設部河川課		***********									ソフト
別板音の軽減、平 明復旧・復興のた の対策	f 土のうステーションの拡充・運営	N= 4 箇所	沼津市	建設部河川課											ソフト
, , , , , , ,	洪水浸水想定区域の指定(その他区 間)及びハザードマップの更新	_	静岡県 沼津市	土木防災課 危機管理課											ソフト
	h LP測量を活用した土砂災害警戒区域 の新規指定箇所の抽出	-	静岡県	沼津土木事務所企画検査課					•						ソフト
	・ 市町との連携による河川監視カメラ の設置	N= 2 基	静岡県	沼津土木事務所維持調査課											ソフト
	. 浸水センサの設置による広域的な浸水域情報の提供	N=17基	沼津市	建設部河川課 建設部道路管理課		HEHE	SHEHEHEHEN	HENSISHENSI	SHSHSHSHSHS	ASHSHSHSHS		SHSHSHSHSH	(HEHEHEHEHE)		ソフト
	k 新たな対策の掘り起こしの検討	_	_	本協議会構成員を含む流域内のあら ゆる関係者											



※10/24指定河川以外のその他河川における洪水等浸水 想定区域の指定に関する説明会資料抜粋

洪水浸水想定区域図の公表までのフロー

検討業務の発注



区域図(原案)<u>作成</u>



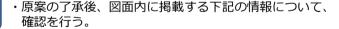
市町照会



・洪水浸水想定区域図を作成するための委託業務の 発注を行う。

- 各河川の解析条件の確認
- ・解析条件のもと、各河川の解析結果を背景図と重 ね合わせ、洪水浸水想定区域図(原案)を作成
- ・①区域図(原案)と②解析条件を示した条件表や 説明資料を一式整える。
- ・と解析条件を示した条件表、説明資料を市町に提供 し、洪水浸水想定区域図(原案)について意見照会し、 解析結果等に関する意見を聴収。
- ・解析条件等の変更などがある場合は、氾濫計算の再計算 を行う。

区域図 (案) の完成





- ・区域図内に記載する説明文
- ・区域図に掲載する道路、鉄道路線名など公共施設
- ・機関名
- ・測量法30条に基づく、使用承認番号の取得

区域図の公表

- ・河川企画課より課長名で各市町へ通知文を送付する。
- ・各河川の氾濫解析結果を示したデータ(shpファイル) を提供する。
- ・静岡県HPへ洪水浸水想定区域図(PDF)の掲載を行う。
- ・建設政策課に静岡県GIS掲載するためのデータ(bdsファイル)を提供する。

施策名(追加) ③-g 洪水浸水想定区域の指定(その他区間)及びハザードマップの更新

洪水浸水想定区域の指定までのフロー

区域図の公表



指定に向けた市町調整



- ・各河川における情報入手方法の確認
- ・指定条件(区域図公表、市町長が洪水の 発生のおそれに関する情報の入手が可能) が満たされた市町と、指定時期の調整。
- ・指定後に市町が作成するハザードマップの 財政支援(国の交付金)の要望確認

区域の指定

- ・土木防災課より、水防法第14条に基づき、 区域の指定を行う。
- ・洪水浸水想定区域図の説明文の修正(告示番号の取得、水防法に基づく図面としての修正)
- ・県公報に告示する。
- ・土木防災課より知事名で各市町へ通知文を 送付する。
- ・河川企画課、土木事務所で図面の閲覧を開始する。
- ・静岡県HPに掲載済みの洪水浸水想定区域図 (PDF)の更新を行う。

【 市町 】地域防災計画に必要事項記載、 洪水八ザードマップ作成・住民等周知

2

施策名(追加) ③-h LP測量を活用した土砂災害警戒区域の新規箇所の抽出

土砂災害警戒区域等の候補箇所数(沼津土木管内)

	土石流	急傾斜	計
沼津市	51	246	297
三島市	10	109	119
御殿場市	12	142	154
裾野市	19	103	122
伊豆市	157	285	442
伊豆の国市	33	121	154
函南町	23	119	142
清水町	0	11	11
長泉町	3	32	35
小山町	21	143	164
合計	329	0	0



※急傾斜地の場合は、1つの 枠を1箇所としているため、 枠内に複数の斜面が含まれ ている場合がある。

【旧4市町ごとの候補箇所数】

	急傾斜	土石流
修善寺	84	48
中伊豆	98	44
天城湯ヶ島	73	58
土肥	30	7

考慮してランク分けを行った。

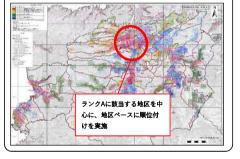
2

優先順位決めの流れ

バッファーを含む区域(赤枠)と①~④が重なるのか データ処理を行い、優先順位をランクAに設定する。 ※要配慮・避難所のみの場合は、A-2に分頼した。 ※要配慮者利用施設や避難所(③、④)は敷地をデータ 処理で取りこぼす可能性があるため、目視でも確認。



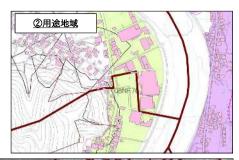
ランクAと⑤をベースに地区ごと(20~40程度の箇所別になるように)に順位付けを行う。 ランクA-1を中心に地区とその地区に含まれる候補箇所数を



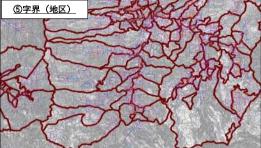
順位決めに使用した資料

③要配慮者利用施設













伊豆市優先順位

									箇	所計												
順位	;	急傾斜(左:1	前所数%	(枠数	、右: 紀	料面単	元数)					土石流	流		基準とした内容						
	合計		僧	善寺	4	伊豆	天城	湯ヶ島		土肥	合計	修善寺	中伊豆	天城湯ヶ島	土肥							
A-1	23	247	21	103	11	58	13	45	7	41	2	,	0	0	2	居住誘導区域、用途地域が含まれる箇所(A-2の基準を含むケースも有り)						
A-2	29	241	21	103	l '''	56	13	40	l '	41	4	4	U	U	2	要配慮者利用施設もしくは避難所が含まれる箇所						
В	18	53	18	53	0	0	0	0	0	0	10	10	0	0	0	ランクA周辺の地区(ランクAが密集している地区)						
C	25	96	6	24	1	3	18	69	0	0	12	0	0	12	0	ランクA周辺の地区(ランクAがあるが、点在している地区)						
D-1	35	136	21	87	13	47	1	2	0	0	32	24	7	1	0							
D-2	34	95	0	0	0	0	16	54	18	41	26	0	0	22	4	ランクA〜B周辺の地区 同一優先度の地区を3つに分割						
D-3	33	146	0	0	33	146	0	0	0	0	20	0	20	0	0	同 後光度の心をといったが高						
E-1	29	99	4	17	20	70	0	0	5	12	17	7	9	0	1							
E-2	42	133	14	36	14	56	14	41	0	0	12	3	0	9	0	ランクC~D周辺の地区 同一優先度の地区を3つに分割						
E-3	17	49	0	0	6	12	-11	37	0	0	22	0	8	14	0	四 後元及り地位ですりにガ剖						
合計	285	1054	84	320	98	392	73	248	30	94	157	48	44	58	7							



【令和5年6月2~3日台風2号__浸水等状況】

施策名(追加) ③-j 浸水センサの設置による広域的な浸水域情報の提供

ワンコイン浸水センサ実証実験について

【概要】

国土交通省では、浸水の危険性がある地域にワンコイン浸水センサを設置し、リアルタイムに浸水状況を把握する実証実験を実施して おり、本市も採択をうけ、令和6年度より実証実験に参加している。

市内にワンコイン浸水センサを 36 箇所(河川課 25 箇所 道路管理課 11 箇所)設置した。ワンコイン浸水センサの設置により、現地を踏査することなく、河川や道路の浸水状況をシステム上で自動的かつ早期に確認することが可能となり、排水機場の運転や道路の通行止めなど、災害対応や地域住民への情報発信を行っている。

【市内設置箇所】



(浸水センサ)

(浸水センサシステム画面)



※沼川(高橋川)流域で17箇所設置